

寺報

発行 福島市田沢字寺前18
長秀院・仲興寺
TEL 024(548)1240
FAX 024(573)1202
ホームページ <http://www.choshuin.jp/>
e-mail choshuin@rainbow.plala.or.jp



発行責任 渡辺 祥文
編集責任 渡辺 秀憲



釈尊降誕会



四月八日はお釈迦様のお誕生日「釈尊降誕会」です。「花まつり」と呼ばれて親しまれております。

曹洞宗においては、お釈迦様のご誕生を二五九二年前、現ネパールのルンビニーの花園においてとしています。

そのとき、天の竜王がお釈迦様の誕生を喜び清浄甘露の水を注いだという故事により、甘茶をおかけし共に頂戴してお祝いいたします。

わたしたちは、この世に生れて今を生きています。これほど尊いことなのです。生命あることに感謝し、大切に生きることを実践したいものです。

案内板

昨年の晩秋から症状の重い風邪、インフルエンザA型、コロナ、そして今年に入りインフルエンザB型の流行と厳しい状況の冬でした。どうしても高齢者は重篤な病状に至ってしまいます。

今後もしもできる限り安全を期して活動していきたく存じます。

長秀院写経会

写経会は、毎月第三土曜日を定例日といたし、慈雲閣において開催いたします。

令和八年 春彼岸会

山主 拝

雲水日記 その二十三

渡辺 秀憲

早くも野山のつぼみが開き始め、春の兆しを感じられるようになりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

今回は「成道会撰心」についてでした。

皆さんご存知の通り、福井県は年間合計三百センチ程（平野部）の降雪量を誇る豪雪地帯にあたります。特に私が永平寺に上山した平成三十年の二月は「平成三十年豪雪」と呼ばれる、北陸地方を中心とした記録的な大雪の年でした。被災地は交通機関のマヒをはじめ甚大な被害を受け、自衛隊の災害派遣によって除雪作業と人命救助が行われたそうです。永平寺の被害は軽微でしたが、私が上山した三月の半ばでも門前町から参道に沿って雪の壁ができていたことを覚えていきます。

上山から十カ月ほどたった頃、再び永平寺に雪の季節がやってきました。田沢出身の私は比較的雪に慣れているほうだと思っていました。積雪の頻度と量はその比ではありません。三十センチも積もれば境内や参道は車も通れず、一日中全山で雪かきすることになります。雲水総出で取り掛かっても、参道入り口から受付までの道を切り開くのがやつと、ということもありました。

直歳寮に配属されていた私は「雪作務」要員となり、全山作務で手が回らなかつた境内の参拝経路の細い道を除雪したり、回廊に入り込んだ雪をかきだして拭きあげたりと、一日中せわしなく動き続けます。夜に布団に入るとすぐ熟睡するぐらい頑張っても、努力もむなしく翌朝ほぼ元通りのきれいな雪景色を拝むことになるのです。

恐ろしいことに、私にとってそれまで経験したことのないほどの雪でも、永平寺に長年お勤めの従業員さんからすれば「今年は少ない方だね」とのこと。実際私が経験した平成三十一年、および令和元二年の冬は比較的雪の少ない冬だったそう。長秀院の雪では泣き言を言っていたのではないということが、ある意味永平寺での一番の学びだったかもしれません。

私が永平寺を離れた直後の冬、永平寺は再び豪雪に見舞われます（令和三年豪雪）。永平寺の被害は軽微らしいというニュースを見ながら任職が一言。「お前、大雪からうまく逃げたみたいと思われんか？」大雪で疲れている雲水さんたちをねぎらうため、そして偶然とはいえ少し後ろめたかつたため、任職と私は雲水全員にいきわたる量の喜多方ラーメンを送ったのでした。



長秀院

大般若祈禱・檀中総供養・釈尊降誕会(花まつり)法要、

「護持会定例総会」のご案内

拝啓 春彼岸の候 檀信徒各位におかれましては、愈々ご清祥の段大慶に存じ上げます。

さて早速ながら、今年の大般若・総供養・釈尊降誕会(花まつり)等の法会を左記の日程にて修行いたします。また午後二時より、令和七年度定例護持会総会を開催いたします。

つきましては檀中お誘い合わせの上、ご来山くださいますようお願いいたします。

田澤山 長 秀 院

長秀院護持会

記

●期日 令和八年三月二十八日(土曜日) 午後二時より

●内容 大般若祈禱法要・総供養・釈尊降誕会法要・護持会総会

檀信徒各位

大聖不動明王例大祭のご案内

来る三月二十八日、午後一時より例大祭祈禱を修行いたします。何卒ご来山くださいますようお願いいたします。

篤信徒各位

大聖不動明王奉賛会

仲興寺

春彼岸総供養会・護持会総会

清水町念仏講供養・総会のご案内

拝啓 春彼岸の候 檀信徒各位におかれましては、ご清栄の事と存じ上げます。
早速ながら標記の件につきまして、今年の日程を左記の通りとし、ご案内申し上げます。

●期日 令和八年三月十九日(木) 午前十時より

●内容 総供養・念仏・総会

清水山 仲興寺

仲興寺護持会

清水町念仏講

檀信徒各位

※大数珠廻しの際は、マスクとポリエチレン製（使い捨て）の手袋をご用意いたします。それぞれくれぐれも無理のないようお願いいたします。

二〇二五年問題に思う(Ⅲ)

二〇二五年問題とは一体何をさすのか？人口の問題はもちろんのこと、人々の意識や考えの変化まで含めた問題なのだと思う。

現在の地域社会を見てみると、かつての子どもたちがどこにでもいた世界とは全く違っている。高齢者は多くいるが、子どもは本当に少ない。福島市の出生率を見ても過去最低の出生率となっている。これは、全ての地域の、日本中の現象である。このような形になると日常生活も変わってくる。

寿命は延びて百歳を越える人も珍しくなくなった。かつて五十年前や六十年前は「米寿」の祝いは最高峰のお祝い事であったが、今や当り前に近いことになり、「通過点」の一つとなつている。介護や看護も日常的なことであり、家庭や施設において行われている。介護・看護は専門職だけの問題ではなく、各家庭内でも日常であり、それに伴い課題や問題が生

じてくる。かくいう自分自身も数え百歳の母と家庭内で過ごしている。介護保険のお陰もあり、ヘルパーさんの手助けやリハビリ、また日常器具（介護の補助器具・ベッド・手すり等）貸借等、現代社会はかつてにくらべ高齢者ファーストになっている。それでもその制度だけでは足りない程高齢者に関する問題は山積しているし、これからも課題は増えてくる。

かつて言われていた「老々介護」七十歳が百歳を介護する時代に入った。施設だけでは追いつけない。また、自分の家で過ごすことを望む高齢者も多い。「免許返納」も事故率の多さから、当然のことであるが代替案が難しい。これから多くの超高齢者が買い物も医院への診療・診察も困ることになる。若い世代と同居している人は稀になつている。

大きな変革が、あたり前となるまで試行錯誤が続くことになると思う。

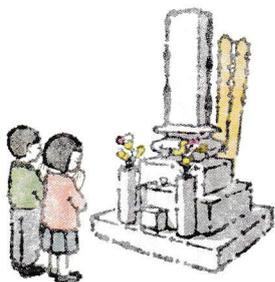
(住職拝記)

「護美運動」の継続 —墓地の「ゴミ持ち帰り運動」—

ゴミの持ち帰りを実施頂き、二十年となりました。皆様の協力のもと、継続できていることを改めて感謝申し上げます。

現在は多くの寺院で実施されています。お供物等はお供えの後、その場でめし上がって頂くか、皆でお分け頂きますようお願いいたします。動物に関する問題も多く、人間と動物（クマ・イノシシ）がぶつかってしまうことを避ける意味でも継続が大事と考えます。熊や猪に遭遇してしまうと事故につながります。ご賢察頂き、お供物の持ち帰りを何卒宜しくお願いいたします。

「護美運動」という言葉は、まさに美しさを護っていくという意味です。で、重ねて宜しくお願ひ申し上げます。



行事案内

＊長秀院

四月十七日(金)

貝沼出世観音例大祭

＊仲興寺

五月四日(月)

(旧) 三月十八日例祭日

聖観音大祭

清水町観音講中

四月は観音様の例祭が多い時期です。それぞれの地域の観音様があります。どうぞお参りください。

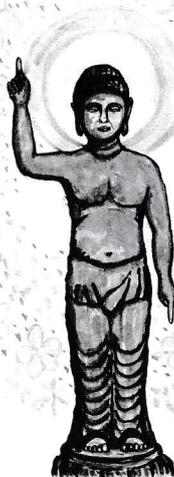
★ありがとうございます★



看花亭除草
長秀院有志様
除雪奉仕
長沢 辰夫様
雑木境内伐採
仲興寺有志様

福島市仏教会主催

「花まつり」講演会



期日 令和八年四月六日(木)

午後一時開場

場所 ホテル福島グリーンパレス

※入場には整理券が必要です。お寺にお申し込みください。必ず差し上げます。

福島市仏教会主催の講演会です。仏教会は市内各宗派一〇四ヶ寺で組織されています。

※入場整理券は必ずお寺へお申し込みください。



クマに注意!!

春となり気温が上がって来ました。昨年の八月から十二月は、まさに「熊問題」に日本中が揺れました。皆さんからも「冬眠から目覚めたらまたウロウロと始まるのでしょうか?」という問いを頂いていますが、正直どのようなかわかりません。例年は、秋の問題でありましたが、現在熊が自分の庭のように歩きまわっている秋の様子でしたから、春も似た状態になるかもしれません。報道や情報発信に注意をして、人間側の備えを大事にしたいと存じます。ご注意の程宜しくお願致します。

おねがい

住職が法務で不在となることも多くありますので、ご来山前にお電話等で必ず確認をお願いいたします。

電話 〇二四一五四八一二四〇
FAX 〇二四一五七三一二〇二